

おしらせ

Info 1 新入職医師のご紹介

Info 2 エボラ出血熱について

過去1ヶ月以内にエボラ出血熱流行国(ギニア・リベリア・シエラレオネ)から帰国し、発熱した方は、保健所に連絡して、その指示に従って下さい。直接、当院を受診する事は控えて下さい。感染拡大防止のため、ご理解ご協力をお願い致します。

【連絡先】 神戸市保健所・予防衛生課 078-322-6789

Medical News

2014年12月  
Vol.90

Shinko Hospital

Contents

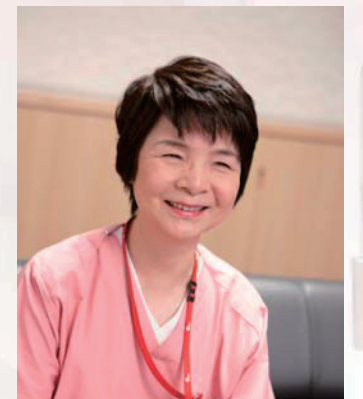
- \*特集：看護部  
「神鋼病院を支える看護のエキスパートたち」
- \*おしらせ  
・新入職医師のご紹介  
・エボラ出血熱について
- \*ヘルシーレシピ  
「簡単！魚缶と白菜のあっさり鍋」

神鋼病院を支える看護のエキスパートたち

— 専門看護師と認定看護師の役割と活動 —

医療の高度化、高齢社会の進展、患者さんニーズの多様化などの社会状況から、病院で働く看護師にはより高度な知識と技術が求められています。看護面において、複雑で解決が困難な問題を持つ患者さんやご家族に対して、高水準のケアを効率よく提供するために、特定の専門看護分野の知識と技術を深めた専門看護師と、特定の領域に熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践

ができると認められた認定看護師が日本中で活躍しています。専門看護師、認定看護師とも看護水準を維持し続けるために、資格取得後も5年ごとに更新審査を受ける必要があります。神鋼病院では、1名のがん看護専門看護師と、8領域10名の認定看護師が病棟や外来で活動しています。それぞれの看護師たちの役割と活動を紹介します。



看護部長  
本田 美恵子  
MIEKO HONDA

専門看護師って何？



専門看護師とは、看護系大学院の修士課程修了者のみが取得する事ができる資格です。実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であることが必須で、書類審査や筆記試験など認定審査に合格して、ようやく専門看護師になることができます！

がん看護専門看護師  
Cancer Nursing

今や、がんは国民の2人に1人は罹患すると言われています。がん医療は、年々進化しており、早期治療を行えば完治することも可能な時代となりましたが、患者さんにとって、「がん」という病気の重みや深刻さは、計り知れないものがあることを痛感しています。

皆さんは、当院に『がん相談支援室』が設置されていることをご存知でしょうか？がん相談支援室は、患者さんやご家族、地域住民の方々を対象に、がんの予防や治療、日常生活での悩みや心配ごと、仕事のことなど、がんに関するあらゆる相談に応じる場

として利用していただいております。ゆっくりとお話ができる部屋を準備しております。相談の内容は秘密厳守としておりますので、安心してご利用下さい。相談に来られた方からは、「相談室に来て話を聞いてもらってよかった」というお言葉をいただき、相談室を複数回利用していただいている方もいらっしゃいます。「こんなこと聞いてもいいのかな…」と迷った時は、まずお電話ください。一緒に考えましょう。相談員として、問題を解決する手掛かりを探るお手伝いをさせていただきます。



◆がん相談支援室

	月	火	水	木	金
午前		○			○
午後			○		

予約 相談料は無料、全て予約制です。神鋼病院での受診歴のない方でも相談できます。ご希望の方は、病院代表番号へご電話のうえ、「がん相談支援室に相談したい」とお伝え下さい。

ヘルシーレシピ  
— Healthy Recipe —

管理栄養士 宮本 登志子

簡単！魚缶と白菜のあっさり鍋

魚料理は敬遠されがちですが、簡単に食べる方法がありますのでお試しください。

魚の水煮や味付けの缶詰を用意します。鯖、鮭、サシマの缶詰で出来ます。味付け缶の場合、煮汁が使えるので、他の調味料が要りません。

水煮缶の場合は、酒、みりん、しょうゆなどで調味してください。生姜も加えると体が温まりますよ。



※写真は1人分です

作り方

- ① 白菜はざく切りにする。
- ② 人参は薄く切り、花型に抜く。(短冊切り、半月切りなど好きな切り方で可)
- ③ シメジはほぐしておく。
- ④ 葱は斜め切りにする。
- ⑤ 鍋に白菜、シメジ、人参をいれ、水を加えて煮る。
- ⑥ ⑤が軟らかくなったら、鯖缶を煮汁ごと加え、葱を散らしさっと煮る。

【1人分栄養量】 185kcal たんぱく質 17g 脂質 9g 塩分 1.5g

2人分の材料

- ・鯖の味付け缶 1缶 鯖 140g
- ・白菜 1/8個
- ・人参 30g (花型6枚)
- ・シメジ 40g
- ・葱 30g
- ・水 150~200cc

神鋼病院理念

地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
TEL : 078-261-6711 (代表)  
FAX : 078-261-6726  
URL : <http://www.shinkohp.or.jp/>  
発行責任者：病院長 山本 正之  
編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦

患者教室などの詳しい情報はこちらから!!  
神鋼病院 検索  
<http://www.shinkohp.or.jp/>



## 皮膚・排泄ケア認定看護師

Wound, Ostomy and Continence Nursing

現在、日本看護協会が特定している認定看護分野は21分野あり、その中でも皮膚・排泄ケアは救急看護と並んで最初に特定された分野で、今年17年目を迎えます。全国で2,054名、うち兵庫県では99名認定されており、当院では2008年から2名体制でケアに当たっています。

私たちが取り扱う分野は三つの柱で構成されています。1つ目は傷に関すること(入院中及び在宅での床ずれケア、手術で出来た傷やくっ付きにくい傷のケア、弱い肌のスキンケア、化学療法後のスキントラブルケア、乳がんが出来た傷のケアなど)です。2つ目は人工肛門などに関すること(人工肛

門・膀胱のケア及び社会復帰後のフォロー、胃ろう・食道ろう・気管切開で出来た喉の傷のケアなど)です。そして3つ目は排泄に関すること(排尿の管理及び指導、便・尿失禁によるスキントラブル、手術後の排泄障害、性機能障害のケアなど)です。これら3つの分野に関して入院中はもとより、退院や施設などに転院された後のフォローを行うことで、患者さんやご家族のQOL向上となるよう努力しています。

現在、ストーマ外来、排尿管理ケア外来(当院で手術された患者さんのみ)、褥瘡・創傷ケア外来を看護専門



宮垣 真理  
MARI MIYAGAKI



白石 厚美  
ATSUMI HIRAISHI

外来として行っています。スキンケアを通して患者さんやご家族、スタッフの笑顔を見られる事が、私たち皮膚・排泄ケア認定看護師にとって大きな喜びです。お困りの方がおられましたら、遠慮なくご相談下さい。

### ◆ストーマ外来

	月	火	水	木	金
午前		○	○		○
午後		○	○		

**予約** 予約制です。医師の診察が必要になりますので、ご希望の方は外科医または泌尿器科医へご相談下さい。

## 感染管理認定看護師

Infection Control

感染管理認定看護師とは、患者さんやそのご家族、面会者、医療従事者やその他の職員、そして地域全体も含めた方々を感染症から守る役割を担っています。そのため、感染症の発生や拡大を抑えるために、病院内に限らず、地域を含めた感染症発生



感染対策訓練中

動向を常に注視するとともに、看護師だけでなく、医師や薬剤師、検査技師など他の医療職とも連携し活動していかねばなりません。

日々、更新される国内外の感染症の流行状況に応じ、病院内で行わなければならないことを検討し、行うべき感染症対策については医療職への周知徹底はもちろん、来院される方へも協力していただけるよう、活動していきたいと思ひます。

さらに地域活動として、具体的な感染症対策やワクチン接種に関することなどの教育活動も行っていますので、ご要望がございましたらお気軽にお



谷口 とおる  
TORU TANIGUCHI

問い合わせください。

身近な感染症であるインフルエンザや、感染性胃腸炎、院内での感染原因として大きな問題となる抗菌薬が効かない薬剤耐性菌への対応など、感染症対策に終わりはありません。病院の状況にあった感染症対策を行うとともに、地域全体も考慮した感染症対策を行い、皆さんが安心して神鋼病院にお越しいただける環境を作りたいと思ひます。

### 認定看護師って何？



認定看護師とは、日本国の看護師免許を持っていて、看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上あり、うち3年以上は認定看護分野の実務研修を行った看護師が取る事ができる資格です。認定看護師教育機関の研修を6ヶ月受けたのち、認定審査に合格したらようやく認定看護師になれます。

### 看護外来って何？



看護外来とは、それぞれの分野において専門的な知識・技術をもった専門看護師や認定看護師が、患者さんやご家族からの相談を受けたり、指導、ケアなどを行う外来のことです。看護外来を行うには、まず医師の診察が必要になります！

## 集中ケア認定看護師

Intensive Care

私たち集中ケア認定看護師の役割は、重篤な患者さんが一日でも早く回復できるようにサポートする事です。患者さんの全身状態を綿密に観察し、個々に適切なケアを選択する事を心がけ、病気がさらに重篤な状態にならないように看護を提供しています。

院内には、医師や看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士など多職種で構成される呼吸ケアサポートチームがあります。私たちはこのチームにも参加しており、ここでは人工呼吸器の補助を必要とする患者さんが

楽に呼吸が出来るようにサポートしたり、機器の補助がなくてもよくなるように呼吸のリハビリテーションをしたり、上手に痰を出せるようサポートするなど、様々な活動を行っています。

一度弱ってしまった呼吸の力はなかなか回復しませんが、退院後も自宅でできる呼吸訓練の相談にも応じています。重症になればなるほど様々な苦痛が身体に現れます。さらに、命の危機に直面している場合もありま



大黒 陽子  
YOKO OHGURO



笹村 洋之  
HIROYUKI SASAMURA

す。そのような状態であっても、患者さんが安心して病気と闘えるように、そして元気になって退院できるように、医師や看護スタッフと連携しながらサポートをしていきたいと思ひます。

## 糖尿病看護認定看護師

Diabetes Nursing

糖尿病治療は、食事療法、運動療法、薬物治療が3本柱ですが、どの治療も日々の生活に密着した治療です。そのため継続して行うことに困難を感じている方もいらっしゃいます。何かのイベントがあったり、強いストレスを感じた時に糖尿病管理が難しいと感じることはごく自然なことです。

しかし一方で血糖値が高い状態が続くと、糖尿病合併症が心配なのも事実です。患者さんやご家族が糖尿病とうまく折り合いをつけ生活調整ができるように、病棟・外来スタッフとともにサポートしていきたいと考えています。

外来では、糖尿病合併症の1つである腎症の悪化、透析導入を予防するために糖尿病透析予防指導外来を行っています。そして9月より新たに自己注射をされている患者さんを対象に、自己管理のサポートをするための糖尿病療養相談外来を開設しました。糖尿病を抱え生活する中で、心配な事や困っていることはありませんか。ぜひご相談ください。

また、糖尿病や下肢の血流不足などから起こる足のトラブル予防の相談窓口として、フットケア外来を2015年秋頃から開設する予定です。



筑紫 央子  
HISAKO TSUKUSHI

### ◆糖尿病療養相談外来

	月	火	水	木	金
午前					
午後					○

第1・2・4金曜日午後のみ実施

### ◆糖尿病透析予防指導外来

	月	火	水	木	金
午前	○		○		○
午後	○		○		○

**予約** 予約制です。医師の診察が必要になりますので、ご希望の方は糖尿病内科医にご相談下さい。



## 乳がん看護認定看護師

### Breast Cancer Nursing

日本では、乳がんにかかる女性は約15人に1人(年間に約6万人)と年々増加しており、発症のピークは40～50歳台で家庭や職場で社会的役割を担う世代です。

乳がんの告知を受けた患者さんは、精神的につらい時期に、術式や薬物療法(化学療法・ホルモン療法)・放射線治療・乳房再建術の有無や時期など、短期間で多くの選択をしなければならなくなり、医師からの説明だけでは十分に理解できないこともあります。そのような場合に、乳がん看護認定看護師として医師の説明を補足したり、それぞれの治療についての情

報提供を行い、安心して治療を受けて頂けるようサポートしています。

その他にも、治療の副作用や、がん再発への不安、ボディイメージの変化、セクシャリティ、手術後の下着の選択、育児、仕事、家庭、経済面など、多種多様な困難を抱える患者さんやご家族に対するサポートもしています。

リンパ浮腫外来は医師の診察が必要になりますので、ご希望の際は形成外科担当医師にご相談ください。また、乳がん相談の予約は形成外科受付で行っていますので、乳がん看護認定看護師をご活用ください。



中村 貴子  
TAKAKO NAKAMURA

#### ◆リンパ浮腫外来

	月	火	水	木	金
午前		○			
午後	○	○			

#### ◆乳がん相談

	月	火	水	木	金
午前				○	
午後				○	

**予約** リンパ浮腫外来は・乳がん相談ともに予約制です。ご希望の方は形成外科受付にてお申し込みください。

## 摂食・嚥下障害看護認定看護師

### Dysphagia Nursing

私は2014年6月に病院の支援を得て、摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。

摂食・嚥下とは「口から食べて飲み込むこと」をいいます。院内には、脳卒中や神経・筋肉の病気の患者さんなど、食べることが難しい患者さんが多くいらっしゃいます。私の役割は、このような患者さんが再び食べられるよう、また安全に食べ続けられるようお手伝いすることです。

「食べること」は生きるために欠かせないだけでなく、人らしく生きることの基本だと思っています。脳卒中後な

どで長い間、何も口にされていなかった患者さんが、一口ゼリーを食べたのをきっかけにみるみる回復していくのを経験し、「口から食べる」ことは生きる活力となるのだ、と日々実感しています。

一方で、病気の進行や年齢の影響によって、食べる機能の回復が難しい患者さんもいらっしゃいます。しかし、どんな場合でもご本人とご家族の意思を尊重しながら、可能な限り安全に食べられる方法を考えていくことも私の重要な使命だと思っています。一人でも多くの方が、口から食べてその



切通 京子  
KYOKO KIRITOSHI

人らしく生きられるよう、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士など院内のスタッフと協力し、取り組んでいきたいと思っています。

#### 看護外来の利用方法



看護外来を利用するには、まずは医師の指示を必要とする場合があります。希望される方は、まず主治医や担当医師にご相談ください。なお、『がん相談支援室』と『乳がん相談』は医師の診察なしで利用できますので、直接病院代表電話にお問い合わせください。

#### チーム医療って何?



チーム医療とは、医療従事者(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床工学技士、理学療法士など)がお互いに連携することで、患者さん中心の医療を実現しようというものです。神鋼病院には様々なチームがあり、各チームに専門・認定看護師が参加しています。

## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

### Stroke Rehabilitation Nursing

みなさんは脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)が増加傾向にあることや、「脳卒中は予防できる病気」であること、「脳卒中がどんな病気」なのかをご存知ですか?

脳卒中の発症は突然で、意識障害や運動機能障害を伴うことも多く、今後の生活にも大きく影響する病気です。脳卒中を予防するためにはまず、自分自身の生活習慣を知り、見直すことが大切です。

生活習慣病からおこる肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病はどれをとっても動脈硬化につながります。動脈硬化は動脈にコレステロールや中性脂

肪などがたまって血液の流れが悪くなり、脳卒中の大きな原因となる病気です。

私の役割は脳卒中を起こしてしまった患者さんを寝たきりにさせず、早期からリハビリテーションが行える体力づくりを支援しながら、「起こしていく看護」を提供することです。人の生活は「起きる」ことが大切で、「起きる」ことからまた新たな生活への拡大につながってきます。

また、脳卒中の初期症状を少しでもみなさんが知っておくことで早期発見・治療につながりますので、専門的知識をもとにみなさんへ情報提供をし



竹内 希世子  
KIYOKO TAKEUCHI

ていくことが私の役割です。

患者さんの持つ「回復への可能性」を信じ、多職種・チームで行うリハビリテーション看護を提供していきたいと思っています。

## がん性疼痛看護認定看護師

### Cancer Pain Management Nursing

「がんの痛み」と聞いてみなさんはどのようなことを想像されますか?ほとんどの患者さんは「怖いもの」や「できれば避けたいもの」と表現されます。

がん患者さんの場合、治療期にある約3割の方がすでに痛みを感じていると言われており、痛みがあることでがんそのものの治療が滞ったり、これまで通りの生活が送れないなど、日常生活だけでなく治療自体にも影響を及ぼしてしまいます。そのため、早期に痛みのケアを行っていくことは、非常に重要であると日々感じています。

そのなかで、治療を続けながら患者さんやご家族とともに、痛みと上手につき

あう方法を一緒に考え、その人らしい過ごし方を実現できるように支援するのが私の役割です。また、個々の患者さんの病状やライフスタイルに合った鎮痛薬の選択をはじめ、頓服薬の効果的な使い方やその方の好みに合ったリラクゼーション法など、鎮痛薬以外での痛みの緩和方法を提案し、自宅でも続けていけるようセルフケアに向けた相談に応じています。

「がん」=「痛い」というイメージがまだまだ根深いかもかもしれませんが、緩和ケアの普及や新しい鎮痛薬の登場により、がんの痛みは鎮痛薬を正しく使用することでコントロールできる症状



家本 由佳  
YUKA TEMOTO

です。これからも一人ひとりの患者さんが自分らしく過ごしていけるようなサポートを続けていきたいと思っています。